



## 新着本の紹介

『銀婚式』（毎日新聞社） 篠田 節子／著  
「男の本分は仕事」 それは幸せな人生ですか？ 歲月を経て、夫婦がたどり着いた場所。働くとは、結婚とは、幸福とは。激動する時代の「家族」の物語。『毎日新聞』の「日曜くらぶ」連載を書籍化。

『下山の思想』（幻冬舎） 五木 寛之／著  
敗戦から見事に登頂を果たした今こそ、実り多き「下山」を思い描くべきではないか。諦めの行動でなく新たな山頂に登る前のプロセスとして「下山の思想」を説き、未曾有の時代にどう生きていくか、究極のヒントを示す。

『小澤征爾さんと、音楽について話をする』（新潮社）  
小澤 征爾／著、村上 春樹／著  
カーネギー・ホールの劇的な復活コンサート、カラヤンやバーンスタインと過ごした月日、若い世代へと繋いでゆくもの。作家・村上春樹が、不世出の指揮者・小澤征爾の煌めく魂に触れた迫真のロングインタビュー。

『夢をかなえる。』（徳間書店） 澤 穂希／著  
夢を抱くのに年齢もキャリアも関係ない。シンプルな習慣を少しプラスするだけで、夢はグッと近づく。「コンプレックスは無理に克服しない」「自分の勝ちパターンをつくる」など、“あきらめない自分”をつくるヒントが満載。

(TRCマーク情報より)

## \*新しい雑誌が入りました！\*



雑誌コーナーに「住む。」(泰文館)が加わりました。住まいと暮らしに関わるさまざまな知恵や工夫について書かれた雑誌です。

### 大人も楽しめる絵本！

#### 岩崎書店「怪談えほん」シリーズ

この絵本は、「現代の子どもたちに、もっと怖いお話を」という思いから生まれたそうです。一流作家、一流挿絵画家が参加しており、子どもはもちろん、大人にも読み応えがあります。ゾクッと怖いお話をお楽しみ下さい。(※全5巻順次刊行予定です。現在2巻まで刊行されています。)

#### 《シリーズ一覧》

- 『悪い本』  
宮部 みゆき／作、吉田 尚令／絵
- 『マイマイとナイナイ』  
皆川 博子／作、宇野 亜喜良／絵
- 『いるの いないの』  
京極 夏彦／作、町田 尚子／絵
- 『ゆうれいのまち』  
恒川 光太郎／作、大畑 いくの／絵
- 『ちょうつがい きいきい』  
加門 七海／作、軽部 武宏／絵

## 第146回（平成23年度下半期） 芥川龍之介賞・直木三十五賞決定！！

1月17日に都内で「第146回芥川龍之介賞・直木三十五賞」の選考会が開かれ、芥川賞は円城塔さんの『道化師の蝶』、田中慎弥さんの『共喰い』のW受賞、直木賞は葉室麟さんの『蝸ノ記』に決定しました。贈呈式は、2月中旬に都内で行われる予定です。東予図書館では、特集コーナーにて受賞者の方々の作品や今回惜しくも受賞を逃した方々の作品を展示しています。

### 【第146回芥川龍之介賞候補作品】

著者名	作品名・掲載雑誌
石田 千	『きなりの雲』(群像10月号)
● 円城 塔	『道化師の蝶』(群像7月号)
● 田中 慎弥	『共喰い』(すばる10月号)
広小路 尚祈	『まちなか』(文學界8月号)
吉井 磨弥	『七月のばか』(新潮3月号)

### 【第146回直木三十五賞候補作品】

著者名	作品名・出版社
伊東 潤	『城を噛ませた男』(光文社)
歌野 晶午	『春から夏、やがて冬』(文藝春秋)
恩田 陸	『夢違』(角川書店)
桜木 紫乃	『ラブレス』(新潮社)
● 葉室 麟	『蝸ノ記』(祥伝社)
真山 仁	『コラプティオ』(文藝春秋)